

# 写真が 開く 地域研究



2016年6月13日(月)

15:00~18:00(14:30開場)

京都大学 稲盛財団記念館3階 大会議室

事前申込み不要 **無料**

お問い合わせ:[heritage@idc.minpaku.ac.jp](mailto:heritage@idc.minpaku.ac.jp)

主催：科学研究費助成事業(新学術領域研究(研究領域提案型))  
『学術研究支援基盤形成事業』  
「地域に関する学術写真・動画資料情報の統合と高度化」  
(通称：地域研究画像デジタルライブラリ)

共催：京都大学地域研究統合情報センター

2016年6月13日(月)

15:00~18:00(14:30開場)

京都大学 稲盛財団記念館3階 大会議室

事前申込み不要 **無料**

お問い合わせ:heritage@idc.minpaku.ac.jp

主催：科学研究費助成事業(新学術領域研究(研究領域提案型))

『学術研究支援基盤形成事業』

「地域に関する学術写真・動画資料情報の統合と高度化」

(通称：地域研究画像デジタルライブラリ)

共催：京都大学地域研究統合情報センター

# 写真が 開く 地域研究



日本の研究者による世界各地での現地調査の際に撮影された写真や動画などの画像資料は、世界諸地域の調査当時の実態を記録した貴重な研究資源であるとともに、日本の学術史を反映する学術遺産でもあります。このたび、日本の国内外での学術調査に関わる写真資料を集積するプラットフォームを構築し、地域研究のさらなる進展を支援する事業(通称「地域研究画像デジタルライブラリ」)が、国立民族学博物館を中核機関とし、京都大学地域研究統合情報センターや国立情報学研究所などを連携機関として、発足しました。

その事業の第一歩として、地域研究に関する画像データベースの活用により、どのような研究の可能性が開けてくるのか、さらにはそれを支援する上で、どのようなシステムの構築が求められるのかを、この事業に関心をもっていただける方々のあいだで議論するワークショップを開催することといたしました。ご多忙のこととは思いますが、是非、ご参集いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

研究支援代表者 吉田 憲司(国立民族学博物館)

## 〈会場案内〉



## プログラム

15:00 プロジェクトの趣旨説明 吉田 憲司(国立民族学博物館)

15:35 **報告1** フィールドノートから地域を探る——地域情報学の試み  
柳澤 雅之(京都大学地域研究情報統合センター)

— 休憩 15分間 —

16:25 **報告2** 民博ネパール写真データベースとその後の展開  
南 真木人(国立民族学博物館)

17:00 **報告3** チンパンジー研究者、西田利貞が遺した1960~1970年代  
タンザニアの写真——京大博物館による研究資源アーカイブ化  
中村 美知夫(京都大学大学院理学研究科)

17:30 討 論